研究に関する情報公開

札幌医科大学保健医療学部では、札幌医科大学倫理審査委員会および札幌医科大学長の承認を得て、下記の研究を実施いたします。

「札幌市におけるフレイル改善マネジャーによる介護予防事業の実態把握と効果検証」

についてのご説明

【研究責任者・分担者】

本研究は、以下の組織により構成されています。

・研究責任者

池田　　望（札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科 作業療法学第二講座・教授）

・研究分担者

井平　　光（札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科 理学療法学第一講座・准教授）

横山　和樹（札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科 作業療法学第二講座・講師）

田代　英之（札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科 理学療法学第一講座・助教）

下木原　俊（札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科 作業療法学第二講座・訪問研究員）

宮嶋　　涼（札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科 作業療法学第二講座・訪問研究員）

牧野　圭太郎（札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科 理学療法学第一講座・訪問研究員）

山　　功恭（札幌医科大学大学院 保健医療学研究科・大学院生）

島田　清貴（札幌医科大学大学院 保健医療学研究科・大学院生）

小林　将幸（札幌医科大学大学院 保健医療学研究科・大学院生）

木田　拓斗（札幌医科大学大学院 保健医療学研究科・大学院生）

伊藤　一成（札幌医科大学大学院 保健医療学研究科・大学院生）

塩田　英睦（札幌医科大学大学院 保健医療学研究科・大学院生）

小林　龍生（札幌医科大学大学院 保健医療学研究科・大学院生）

【研究の意義・目的】

札幌市では地域包括支援センターに「フレイル改善マネジャー」を配置しています。フレイル改善マネジャーは、要支援の認定を受けているものの介護サービスを利用していない高齢者の方に支援を行う専門の職員です。フレイル（加齢に伴い心身の活力が低下し、要介護になる前の状態）の改善や重度化の防止をめざして、ご自身でできる健康づくりの情報をお伝えしたり、介護

予防の事業をご案内したり、必要なときには適切なサービスにおつなぎしたりしています。

この支援の効果がわかると、限られた人数のなかで、より効果的に支援を行う方法を考えることができます。そこで本研究では、フレイル改善マネジャーによる介護予防事業が実際にどのように行われているか、また、参加者の皆さまのフレイルの状態や自立した生活にどのような効果があったのかを明らかにすることを目的としています。この結果は、支援をより良く進めることや、介護予防の推進、介護にかかる費用をおさえることにつながり、高齢の方がいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりに役立つと考えています。

【研究実施施設】

札幌医科大学保健医療学部，札幌市に所在する地域包括支援センター

【研究対象】

令和5年4月から令和15年3月31日までの期間に、札幌市の地域包括支援センターにおいて、要支援認定を受けながら介護サービスを利用していない 18 歳以上の方として、フレイル改善マネジャーやその他の職員による個別評価の対象となった方を対象とします。

【研究内容】

対象となる方について、性別、年齢、居住形態、病歴、要介護度、要支援認定を申請された理由や介護サービスを利用していない理由、ならびに「フレイル状態チェックシート」（フレイルの状態や生活機能、活動の状況などを確認するもの）などの情報を、フレイル改善マネジャーが保有する既存の資料より収集し、支援による効果を検証します。なお、これらのデータは、フレイル改善マネジャーが支援を行う際にすでに把握・記録している既存のデータを用いた研究ですので、皆さまへの追加の調査や費用のご負担は生じません。また、研究者がお預かりするデータは、お名前など個人を特定できる情報を取り除いて加工した情報です。

【個人情報の管理】

本研究では、個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとっております。お名前などの個人情報とデータを対応づける表は、地域包括支援センターのフレイル改善マネジャーが、施錠できる場所で厳重に管理いたします。本研究の実施過程および結果の公表の際は、参加者を特定できる情報は一切含まれません。また、データの保存や処理を行うコンピュータは、情報漏洩を防止するために研究責任者と分担者のみが取り扱い、部外者には一切公開しません。札幌市から提供される既存資料は、

通信の暗号化やアクセス権限管理等のセキュリティが確保された札幌市のデータ共有システムで保管・共有し、その利用ができる者を研究責任者・分担者及び札幌市保健福祉局高齢保健福祉部介護保険課の該当者に限定します。なお、使用するためのコンピュータは定期的にアップデートし、ウイルス対策ソフトを更新することによりデータ管理を厳重に行います。研究データが保存されているハードディスクは施錠できる保管場所に収納し、研究責任者および分担者のみが鍵の管理を行い、部外者には一切取り扱いができないようにします。

【研究結果の公表】

本研究で得られた研究結果については、関連学会での発表や学術雑誌へ投稿することを予定しています。また、札幌市介護保険課の協力を得て、行政および一般市民向けに報告書を作成する予定です。研究結果の報告および論文化に関しては、研究に携わった研究者の氏名のみが公表され、参加者の皆さまが特定できるような個人情報は公開しません。なお、本研究は、現時点では特定されない将来の研究のために用いられる可能性があります。研究で得られたすべての情報は、当該研究結果の最終公表（論文等での発表）から 10 年間保管します。当該保管期間の後、保管されたデータは復元できないように処理した上で破棄いたします。

【本研究に関する費用負担について】

札幌市の地域包括支援センターにおける既存資料を利用した研究であり、皆様に費用をご負担いただくことはありません。

【本研究にかかる研究資金および利益相反について】

本研究は札幌医科大学の教育研究費等で実施されます。他に企業や組織からの資金源の供給はないことから、利益相反はありません。

【本研究に際しデータの提供をご希望されない場合について】

令和 5 年 4 月から令和 15 年 3 月 31 日までの期間に、札幌市の地域包括支援センターにおいてフレイル改善マネジャーによる支援の対象となった方の中で、本研究へのデータ提供をご希望されない場合については、下記までご連絡頂けますようお願い申し上げます。ご連絡頂いた方に関わる研究結果を破棄いたします。その場合でも、フレイル改善マネジャーによる支援において不利益が生じることは決してありません。ただし、ご連絡頂いた時点で既に研究結果が学術大会や論文などに公表されている場合や研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からデ

ータを取り除くことは出来ず、研究参加を取りやめることができなくなりますので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

研究実施責任者連絡先

氏名：池田 望

所属：札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科 作業療法学第二講座 教授

住所：〒060-8556 札幌市中央区南 1 条西 17 丁目

電話：011-611-2111（内線 28860）

Mail：ikedan@sapmed.ac.jp（夜間・休日は Mail のみで受け付けます）

研究実施分担者連絡先

氏名：横山 和樹

所属：札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科 作業療法学第二講座 講師

住所：〒060-8556 札幌市中央区南 1 条西 17 丁目

電話：011-611-2111（内線 28870）

Mail：k.yokoyama@sapmed.ac.jp（夜間・休日は Mail のみで受け付けます）